

自閉症スペクトラム障害のある児童を対象とした語彙の指導

絵本の読み聞かせを用いた試み

○平野裕司

小野那佳

黄淵熙

(東北福祉大学大学院総合福祉学研究所) (東北福祉大学大学院教育学研究所)

(東北福祉大学教育学部)

KEY WORDS: 自閉症スペクトラム障害 語彙 読み聞かせ

(目的)

自閉症スペクトラム障害のある児童は、知能検査で得られた言語性知能指数は正常範囲にありながらも、実際の場面では知的能力に見合ったコミュニケーションや言語行動がとりにくいことが報告されている。また、単語やことばの意味を理解している場合も、ことばの表面的な理解に留まることが多く、文脈に沿った意味理解には至らないこと場合もあると考えられる。そこで、本研究では、自閉症スペクトラム障害のある一人の児童を対象とし、絵本の読み聞かせを通じた語彙の指導を行った。絵本を題材としたのは、登場人物の相互間のやり取りが明確であることや、挿絵という文脈を理解するための視覚的情報があったからである。

(方法)

対象児：小学校 3 年生の女兒（以下、児と記す）である。7 歳の時に A 相談室に来室。同時期病院にて自閉症スペクトラム障害の診断を受けた。

対象児の現状は以下の通りである。①児は読みに困難を示しており、読んでも内容の理解が難しい。②小学校に入学してからも、「12 月の次が 13 月」と言うことがあり、知識の少なさが気になる。③日常生活において「あれあれ」と言うことが多く、言いたい物・事を理解することができている様子がみられるが、喚語困難が見られる。④絵本が好きで、自分で読もうとするものの、読むことが出来ず親に読み聞かせをして欲しいと言うことが多い。⑤会話の中で難しい言葉を発話することがあるが、その意味について尋ねるとわからないことが多くある。知能検査の結果からは、視覚認知が高いが、語彙の理解が低いことが明らかになった。

(語彙指導の実際)

支援期間:

2016 年 5 月より週 1 回 1 時間のうち、15 分～20 分ほどを絵本の読み聞かせの指導にあてた。

教材の工夫:

①児の認知特性に合わせて絵本を用いた教材を作成した。②文脈の中で単語や言葉を、自分の経験と結びつけて考えられるように絵カードを作成した。③児の知識を増やすために絵本は季節やイベントに関連するものを用いるようにした。

指導の流れ

最初に対象児の先行知識や既知語彙を調べるためのプレテストを行った。その後、読み聞かせを行い、絵本の中の挿絵や会話を用いて学習予定の語彙に関して話し合った。最後に中心語彙と関連した周辺の知識を増やす目的で絵カードを用いたやり取りをおこなった。その流れを図 2 に示す。



図 2. 指導の流れ

(結果)

プレテスト

指導前にプレテストを実施した。問題の内容は、指導内容に関係するもの 5 問である (表 1 参照)。

その結果、5 問中 3 問不正解であった。「お正月はいつ?」という質問に対して「お年玉」という回答をしており、ことばの短編的な意味は理解しながらも、その明確な概念の理解までは至らなかった。

表 1: 「プレテスト 使用教材: かさこ地藏」

問題	児の回答
①お正月はいつ?	「お年玉」
②12月の次は何月?	13月
③お正月のあいさつは?	「なんだっけ? あっ! あけましておめでとう」
④お正月にはなにをしますか?	「書く(何を書くのか明確に答えられない)」
⑤おじょうざうってなに?	「かさこじょうにでてくる」「山とかにある」
行動観察: ①～⑤の問題を回答する過程において、「あれあれ」「なんだっけ」「ほらこんな感じ」とジェスチャーなどしながら言う様子が見られた。	

支援後の変化

支援開始当初は「わからない」「あれあれ」などの発言が多かった。しかし、指導を進めるにつれ、文脈を通して語彙を理解していく様子が観察された。例えば、プレテストではお正月はお年玉をもらう日という理解に留まっていたが、本の読み聞かせの後には、「お正月は 12 月 31 日の次の日なんだね。」「お地藏さんに傘をもらった恩返しにお正月のものをくれた」と発言し、挿絵にある「鏡餅」や「御馳走」をお正月と関連づけられるようになった。その後、絵カードを用いて「年賀状」「あけましておめでとう」「お年玉」などの関連語彙を増やすことができた。

(考察)

本研究においては自閉症スペクトラム障害のある児童を対象とし、絵本の読み聞かせを通じた語彙の指導を行った。自閉症スペクトラム障害の語彙獲得の特性の一つとして語用論の問題がよく指摘され、同じことばであっても立場や文脈によって使い方が異なることを理解できていないことが多いと知られている。本研究ではことばが使われ、文脈の視覚的情報が多い絵本という題材を用いることで語彙及び関連した情報を理解することにつながったと考えられる。

(文献)

田実潔 (2005) 軽度自閉症児に対する他者の心情理解と表現についての実践研究-絵本を用いた表現言語獲得指導事例, 北星学園大学社会福祉学部北星論集 (42), 117-125

(HIRANO Yuji ONODERA Naka HWANG Yeonhee)